



## 効率的な社内外コミュニケーションを徹底追求。 実現したのは、 MKIの「Microsoft Lync 2010」 システムインテグレーション。

株式会社インテリジェンスは、“人と組織を多様な形で結ぶ「インフラとしての人材サービス」を提供する総合人材サービス企業です。同社は、メール中心のコミュニケーション文化を変革するためユニファイド・コミュニケーション基盤の構築を志向、IT部門が新オフィスへ集結するのを契機に、実験的な試みを行うことになりました。

ここで選ばれたのがMicrosoft Lync 2010で、MKIをシステムインテグレーション・パートナーとして構築プロジェクトが進み、2011年1月より当初の予定どおりサービス開始。これにより効率的な内線通話や内線通話拠点拡大、運用コストの削減を実現しました。

### 目的

画期的なユニファイド・コミュニケーション基盤の構築で、ワークスタイルを変革、業務効率を向上させるとともに、本社視点でコミュニケーション基盤の運用コストを削減すること。

### ソリューション

Microsoft Lync 2010の導入により、プレゼンスを軸としたインスタントメッセージと音声通信を統合。Exchangeやウェブ会議環境も整備し、本当のユニファイド・コミュニケーション・プラットフォームを形成。

### 効果

既存の音声通話環境とMicrosoft Lync 2010の統合環境により、場所や時間にとらわれないコミュニケーションが可能な新たなワークプレイスが社員間のコラボレーションを推進し、業務生産性を向上。

また、ネットワーク設備の簡素化や既存の音声交換システムの運用管理統合化によるコスト削減を実現。

### 人と組織を多様な形で結ぶ 総合人材サービス企業

インテリジェンスは、“人と組織を多様な形で結ぶ「インフラとしての人材サービス」を提供する総合人材サービス企業です。1989年の設立以来、常に社会構造や労働市場の変化に歩調を合わせながら、自己変革を繰り返してきました。常に、顧客が求めるサービスの追求と提供に取り組み、“社会発展に貢献する”という存在意義の実現を目指しています。

### メール多用文化を変えるため、 OCS試験導入するも課題が残る

インテリジェンスでは、本社レベルでの業務生産性の向上を旗印とし、様々な部門や業務に対して改革を進めてきました。IT部門では、ITコミュニケーションにおける従来から存在する課題に着目し、改革のメスを入れることにしました。それは、電子メール中心のコミュニケーション文化に対する改革です。同社における社内コミュニケーションは、長らく電子メールが中心で、1ヶ月に送受信される電子メールは膨大な数に膨れ上がっていました。些細な事もメール、座席が隣でもメール。電子メールは、相手を拘束しないという利点はありませんが、電子メールを中心としたコミュニケーション・スタイルが本来の業務を遂行するにあたってのスピード感や従業員の意思疎通レベルを阻害するようなケースも見受けられるようになっていきました。そこでメール文化からの脱却によるワークスタイルの変革を目的として、2008年6月、従来のオフィス電話やテレビ会議はそのままに、Microsoft Office Communications Server (以下、OCS)を特定部門に限定してパイロット

導入を行いました。OCS導入によりインスタントメッセージ、プレゼンス、ウェブ会議の利用を開始しましたが、従来のコミュニケーション基盤による慣れ親しんだ業務スタイルを大きく変えるには至らず、更なる施策が必要と判断されました。

### 統合コミュニケーション基盤の構築に向け、 Microsoft Lync 2010をトライアル導入

このような中、2010年8月、IT部門が浅草橋オフィスへ集結することが社内決定し、これを機にワークスタイルのあり方をあらためて模索、選ばれたのがMicrosoft Lync 2010です。Microsoft Lync 2010は、OCSと比較し、従来のオフィス電話の機能を置き換えることができる程、音声通話機能が大幅に拡充されており、電子メールやインスタントメッセージなどのメッセージングと音声通話を統合できる本当のユニファイド・コミュニケーション・プラットフォームであったことがその選定理由です。Microsoft Lync 2010の統合コミュニケーション・プラットフォームでは、ユーザーは、相手のプレゼンス状況に応じたコミュニケーション手段を電話、電子メール、インスタントメッセージから即時に選択することができます。



株式会社インテリジェンス  
CHQ管理 常務執行役員  
兼 グループCIO  
小澤 稔弘氏

株式会社インテリジェンス  
ビジネスインノベーション本部  
業務システム部  
サービス企画グループ  
マネージャー  
宮地 和雄氏

## Intelligence

- 名称 株式会社インテリジェンス  
所在地 東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング  
事業内容 ・DODA求人情報サービス  
・就職支援・採用支援サービス  
・人材派遣サービス  
・官公庁事業受託サービス  
・ITソリューションサービス  
(エンジニア派遣サービス)  
・ITソリューションサービス  
(アウトソーシングサービス)  
・[an]サービス  
・[salida]サービス  
・組織・人事コンサルティングサービス

<http://www.inte.co.jp/>

また、社外や在宅勤務中であってもリモート接続によりオフィスと同様のコミュニケーション環境を居ながら実現できることもポイントとなりました。

課題であった電子メール中心の社内コミュニケーションを、場所や時間にとらわれず、その場で最適な手段を利用し、高品質のコミュニケーション方法によりスピード感を持って業務を進められる新たなワークスタイルに置き換えることができると考えたのです。

## UCソリューションの導入実績と経験を高く評価、MKIをインテグレータに選択

今回のプロジェクトでは、三井情報株式会社(以下、MKI)がシステムインテグレータとしてシステム構築の役割を担いました。

MKIは、ユニファイド・コミュニケーション分野に大きな強みを持ち、マルチベンダー製品で構成される多数のシステムをインテグレートしてきた豊富な実績とノウハウを持つことが強みです。このことは、Active DirectoryによってMicrosoft Lync 2010 と既存音声交換システムを統合し、短期間での共存運用環境を立ち上げる今回のプロジェクトにおけるベンダー選択の大きな理由になっています。

## 経験に裏打ちされたシステムインテグレーション力を発揮

Microsoft Lync 2010のトライアル・システム導入のプロジェクト・キックオフは2010年9月。以降MKIは、2011年1月にシステム運用が軌道にのるまで、精力的にサポートを行いました。Microsoft Lync 2010を中心とした他システムとの連携における検証・評価における複数メー

カーとのリレーションにおいても、数多くのユニファイド・コミュニケーション・システムの導入でMKIが培ったノウハウを生かし、徹底したリスク管理のもと、ユーザーの利便性や運用管理のし易さといった視点を踏まえてプロジェクトの推進を支えました。

株式会社インテリジェンス ビジネスイノベーション本部 業務システム部 サービス企画グループ マネージャー宮地和雄氏は、MKIのシステムインテグレーションをこのように振り返ります。「ネットワークが非常に軽快でした。マイクロソフト製品のみならず、ユニファイド・コミュニケーションという領域でナレッジ、ノウハウを豊富に持っていたので、タッグを組んでいて心強い存在でした」

## 業務効率向上と新しい使い方、運用コスト削減を実現

2011年1月、IT部門の2つのグループ計13ユーザーでの利用がスタートし、現在約3ヶ月が経過したところですが、統合環境の実現による導入効果はすでに随所に現れているようです。たとえば、利用ユーザーのメリットとしては、プレゼンスを確認して内線電話をかけるまでのフローがPC上で完結するとともに時間短縮され、効率的な内線通話を行うことが可能になりました。また、社外や自宅などリモート環境においても内線通話を受けられるため、顧客からのコンタクト機会を損失するリスクも解消されました。さらには、着信履歴が残るため、万一受電出来なかった場合も、折り返し連絡することが可能になったといえます。一方、運用管理の側面では、Active Directory運用と統合でき、内線番号登録業務が簡素化されたため、外注コストの圧縮を実

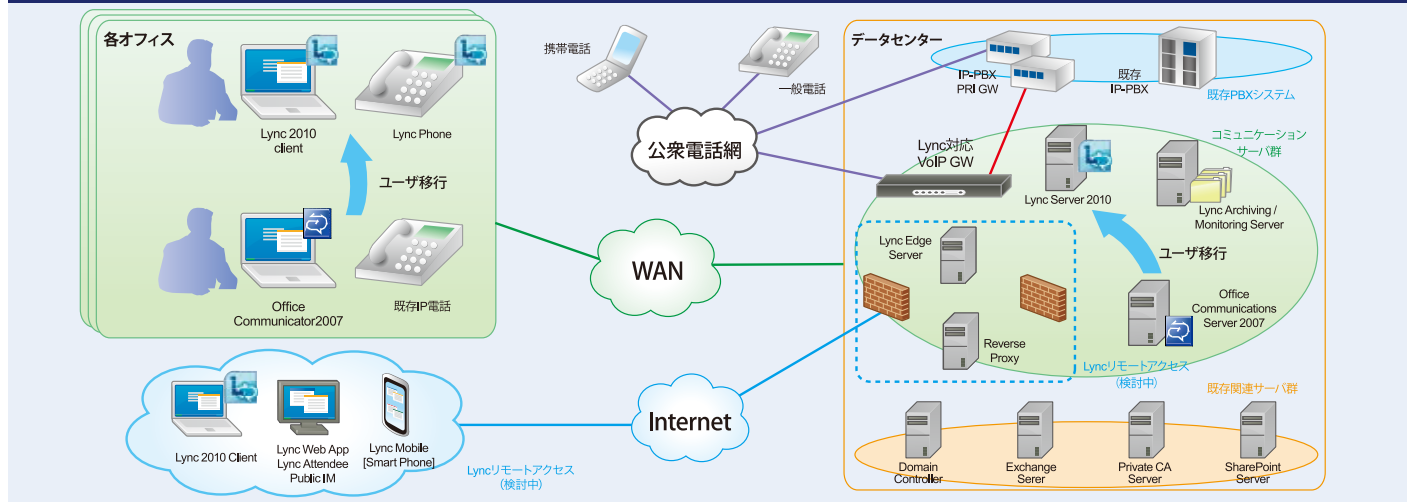
現しました。LAN設備自体もシンプルになり、運用・メンテナンスが容易になったといえます。株式会社インテリジェンス CHQ管掌 常務執行役員 兼 グループCIO 小澤稔弘氏は、次のように語ります。

「Lyncを導入したことで、自宅からVPNで社内LANに入ってふつうに内線電話ができるなど、新しい使い方が可能になりました。音声品質が課題視される場合もあるが、それは時間が解決してくれますし、それよりスマートフォンとつながっていくなど価値ある利用方法が促進できることの方が重要です。将来的にはこの環境のみでコミュニケーション基盤を整備し、物事の解決をスピーディに行えるようにしたい」

## 今後は全社へ水平展開、既存設備のリプレースも検討

現在、同社ではMicrosoft Lync 2010のインスタント・メッセージ機能、プレゼンス機能を全社に水平展開しており、今後は、海外拠点や在宅勤務者とのコミュニケーション基盤確立を目的としたEdge Serverの導入、Lync浸透を見極めつつレガシーなPBX、テレビ会議システムのリプレース検討を進めていくとのこと。それにより設備費や運用費の削減など、全社的なコスト削減効果も見込めるのではないかと同社は期待しています。こうした中、MKIは、よきパートナーとして、またユニファイド・コミュニケーション分野のグローバル・メイン・プレイヤーとして、引き続き顧客のプラットフォームを最適な形で提案、ネットワークおよびシステム構築において、コンサルティングから設計・構築、運用・保守に至るシームレスなサービスを提供してまいります。

Microsoft Lync2010構築イメージ



※記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。※記載された内容は変更する場合がございますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】

**MKI** 三井情報株式会社

プラットフォームソリューション事業本部 事業推進部 営業企画室  
〒105-6215 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー  
TEL : 03-6376-1122 FAX : 03-3435-0525  
製品サービスサイト: <http://biz.mki.jp/> コーポレートサイト: <http://www.mki.co.jp/>  
E-mail: [sales@ml.mki.co.jp](mailto:sales@ml.mki.co.jp)